

開講科目名 / Course	医療福祉と人権	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	平野 互	
担当教員名 / Instructor	平野 互	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	<p>基本的人権に関する知識を習得するとともに、看護専門職として必要な人権感覚を身につけることを目的とする。</p> <p>人権という概念を整理し、憲法をはじめ諸法に規定された事柄だけでなく、その本質的な意義と役割について理解できるよう、医療福祉領域における人権課題とその解決への道筋について講義する。さらに人権感覚の涵養のために、具体的事例をもとに討論を行う。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人権という概念を説明できる。 2. 医療福祉における患者・利用者の人権を説明できる。 3. 医療福祉の様々な場面における人権問題解決の方策を考察できる。 	
DPとの対応	3.心豊かな人間性と倫理観、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 人権 その概念と意義 02. 医療・福祉の人権課題 03. 人格と「自由権」 04. 社会権 「生存権」と社会保障 05. 人権各論 子どもの人権 06. 人権各論 高齢者の権利 07. 人権各論 患者の人権 08. 人権各論 障がい児・者の人権 09. 人権各論 差別と優生思想 10. まとめ 	
その他の授業の工夫	履修者が少数であることが予想されるため、講義中に随時討議を取り入れる。最終回には受講生の関心事を中心に討論を行う。	
時間外学修	<p>事前学修：社会で起きている人権に関する問題について、関心を持って調べる（4h）。</p> <p>事後学修：講義資料等を基に参考文献を調べる（4h）。</p>	
評価方法と評価割合	平常点：20%（発言等の積極性）、最終評価レポート：80%	
テキスト	とくに指定しない。講義中にハンドアウトを配布する。	
参考書	Q&A医療福祉と患者の権利 第2版（明石書店）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		